

## 平成27年度 鉦山保安マネジメントシステムの 構築・有効化支援ワークショップ



損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社

リスクエンジニアリング事業部

太田真治

労働安全コンサルタント(土木)

技術士(資源工学部門)

Copyright © Sompo Japan Nipponkoa Risk Management Inc. All rights reserved.

 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント

### ワークショップとは？

- 一方通行的な知や技術の伝達ではありません。
- 参加者が自ら参加、体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりします。
- 双方向的な学びと創造のスタイルです。

Copyright © Sompo Japan Nipponkoa Risk Management Inc. All rights reserved.

1

 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント

## 研修メニュー

時間	項目	実施内容
10:00 ~ 10:10 (10分)	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ご挨拶・本日のスケジュール</li> <li>□ 講師および各グループメンバーの自己紹介タイムなど</li> </ul>
10:10 ~ 11:00 (50分)	RAおよび鉱山保安MSとの関係について	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ RA50事例集によるRA説明(P1~4 等)</li> <li>□ 鉱山保安MSガイドブックを使いながらRAや保安計画の関連について説明(P9~10(付録4、6の説明)、P13~16、P21~22など)</li> </ul>
11:00 ~ 11:10 (10分)	休憩	
11:10 ~ 12:00 (50分)	RAの実施説明と個人実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ RAの実施方法と留意点、WS題材(災害事例)の説明</li> <li>□ 災害事例を参考にして洗い出す(練習)</li> <li>□ RAの洗い出しと評価を各個人で行い、隣の人と意見交換</li> </ul>
12:00 ~ 13:00 (60分)	お昼休み	
13:00 ~ 14:00 (60分)	ワークショップの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ グループのリーダー、書記、メンバーの役割分担</li> <li>□ 「リスク洗い出し⇒評価⇒リスク低減措置案⇒措置後予想評価」を実施(3例以上)</li> <li>□ 一覧表を作成し、優先順位を設定する</li> <li>□ <b>自鉱山の経験など積極的に出し合ってください</b></li> </ul>
14:00 ~ 14:10 (10分)	休憩(発表準備)	
14:10 ~ 14:40 (30分)	発表と講師による講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ グループごとの代表者に発表を行っていただき、講師から講評</li> <li>□ 洗い出しカードの内容とエクセルシートで検討した優先度について発表</li> </ul>
14:40 ~ 15:00 (20分)	閉会	□ ご挨拶(アンケートのお願い)



## RAワークショップ



まずは個人で災害事例を見ながら以下の「危険有害要因洗い出しカード」に記入してみましょう  
 ※裏面にリスク評価基準あり

The image shows two forms. The left form is a '危険有害要因洗い出しカード' (Hazard Identification Card) with fields for event type, date, name, and a table for identifying hazards. The right form is 'リスク評価基準の例' (Example of Risk Evaluation Criteria), which includes a table for risk levels (大, 中, 小) and a detailed 'リスクレベルと対応処置の例' (Example of Risk Level and Corresponding Measures) table.

## 個人で行うRAでの留意点

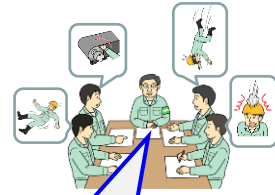
- ① 事例集を使っでの洗い出しの際、事故の型や原因は同じとします。
- ② 作業内容、危険源は事例内容にとらわれなくても良いです。
- ③ 最初は要領を得ず、時間かかってもよいです。（講師への質問OK）
- ④ 30分で各自2例程度練習します。
- ⑤ 災害事例に対応したRA事例が事例集にあります、できるだけ自力でやってみてください

MSガイドブックもご参考に

The image shows the cover of the 'MSガイドブック' (MS Guidebook) and a flowchart of the RA process. The flowchart includes steps [STEP1] to [STEP4] with corresponding page numbers: [STEP1] P13~14, P17; [STEP2] P15; [STEP3] P16, P18~24; [STEP4] P27.

## RAワークショップでの留意点

- ① グループのリーダー、書記、（発表者）を決めます。（リーダーはできるだけまとめ役にできれば役割は事例ごとにローテーション）
- ② 自鉦山の経験など積極的に出し合ってください。
- ③ リスク洗い出し⇒評価⇒リスク低減措置案⇒措置後予想評価までを実施しA3の用紙に記入して下さい（3例以上）
- ④ A3洗い出しカードの結果はエクセル一覧表に結果を入力し、優先順位を設定してください。
- ⑤ 講師はPCの操作フォローはしたり、相談に応じます。（議論には加わりません。）
- ⑥ 洗い出しカードの検討結果を発表して頂きます。



## エクセルの一覧表に入力

洗い出しカードを3枚以上記載できたらエクセルの一覧表に入力してみましょう

No.	業務内容	リスク発生・伝達ルート	リスク発生・伝達ルート	リスク発生・伝達ルート	発生頻度	発生時	リスク評価			発生頻度	発生時	発生時	発生時	発生時
							リスク	リスク	リスク					
							高	中	低					
							高	中	低					
							高	中	低					
							高	中	低					
							高	中	低					
							高	中	低					